

【 U20アジアジュニア選手権 】

2017年7月15日～7月23日 香港・九龍

試合結果報告 7 月 22 日 (土)

J P N	VS	UZB(ウズベキスタン)
21	前半	9
20	後半	9
0	第1延長	0
0	第2延長	0
41	合計	18

個人得点

名前	前半	後半	第1延長	第2延長	合計
榎 和奏					0
松浦 志織	1				1
並木 梨沙	2	2			4
大松澤 彩夏	2	3			5
行本 朱里	1	3			4
鈴木 姫らら		2			2
平川 愛	1				1
吉田 瑞萌	1				1
中山 佳穂	1	2			3
相澤 菜月	3	2			5
下屋 奏香					0
吉留 有紀	4	2			6
笠井 千香子	2				2
西村 美桜里		2			2
尾辻 素乃子	2	1			3
藤田 遥香	1	1			2
					0
					0
合計			0	0	41

戦評

アジアジュニア選手権5戦目はウズベキスタンと対戦。立ち上がりにはNO.28並木のミドルシュートで先制するもウズベキスタンもダブルポストの展開からポストシュートで応戦するもNO.36相澤のカットイン、NO.29大松澤のミドルシュートでペースを掴む。前半7分過ぎから日本はディフェンスシステムを6-0DFから5-1DFシステムに変更するとDFが機能し、NO.42尾辻の速攻を皮切りにNO.38吉留、NO.39笠井らの連続速攻で一気に9連取に成功し、前半15分で13対2と大量リードを奪う。その後も順調に得点を積み重ね、21対9で前半を折り返す。後半立ち上がりNO.28並木の7mTでスタートし、その後も相手のミスやスティールをNO.38吉留の速攻につなげて5連取発進。その後、ウズベキスタンのポストプレーで失点するも交代したメンバーも得点を決め、攻撃の手を緩めずリードを広げ、41対18でタイムアップ。最終戦の韓国戦につながるゲームとなった。

報告記入者 :

佐藤奏吉